

震災時における区会をベースとした情報入手と伝達方法の特性

株式会社 中央地学



茨城県つくば市

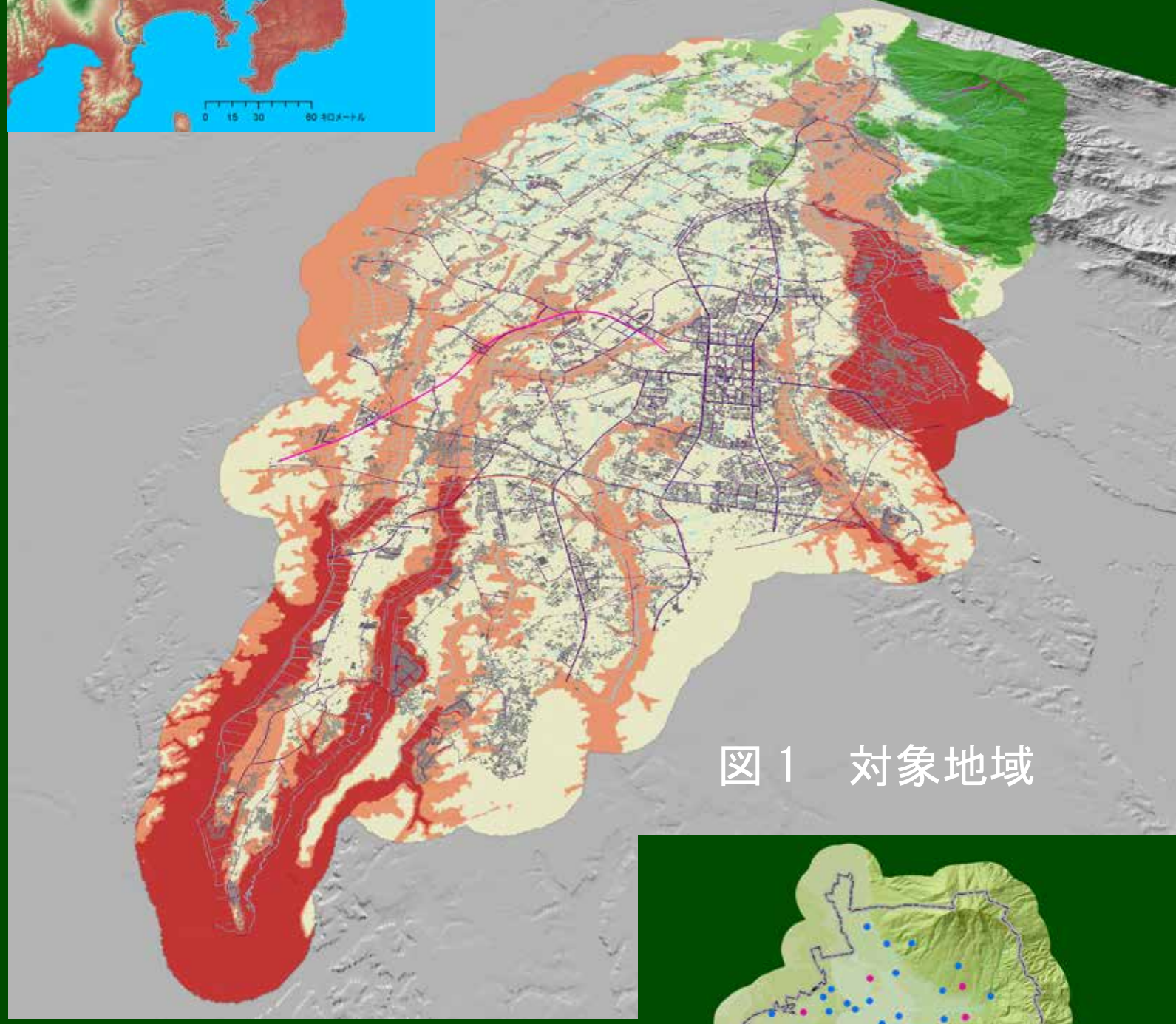


図1 対象地域

1. はじめに

本研究では茨城県つくば市の約600の区会（自治会）を対象に、東日本大震災による被害状況や対応策、情報入手・伝達方法に関するアンケート調査を行い、それらの結果を視覚的に表現すると共に、地域的な差異を明らかにした。

2. 分析単位の設定

調査票を回収することのできた431（回収率76%）の区会を対象にボロノイ分割を行い概略の区会エリアを算出し、これを分析単位とした。

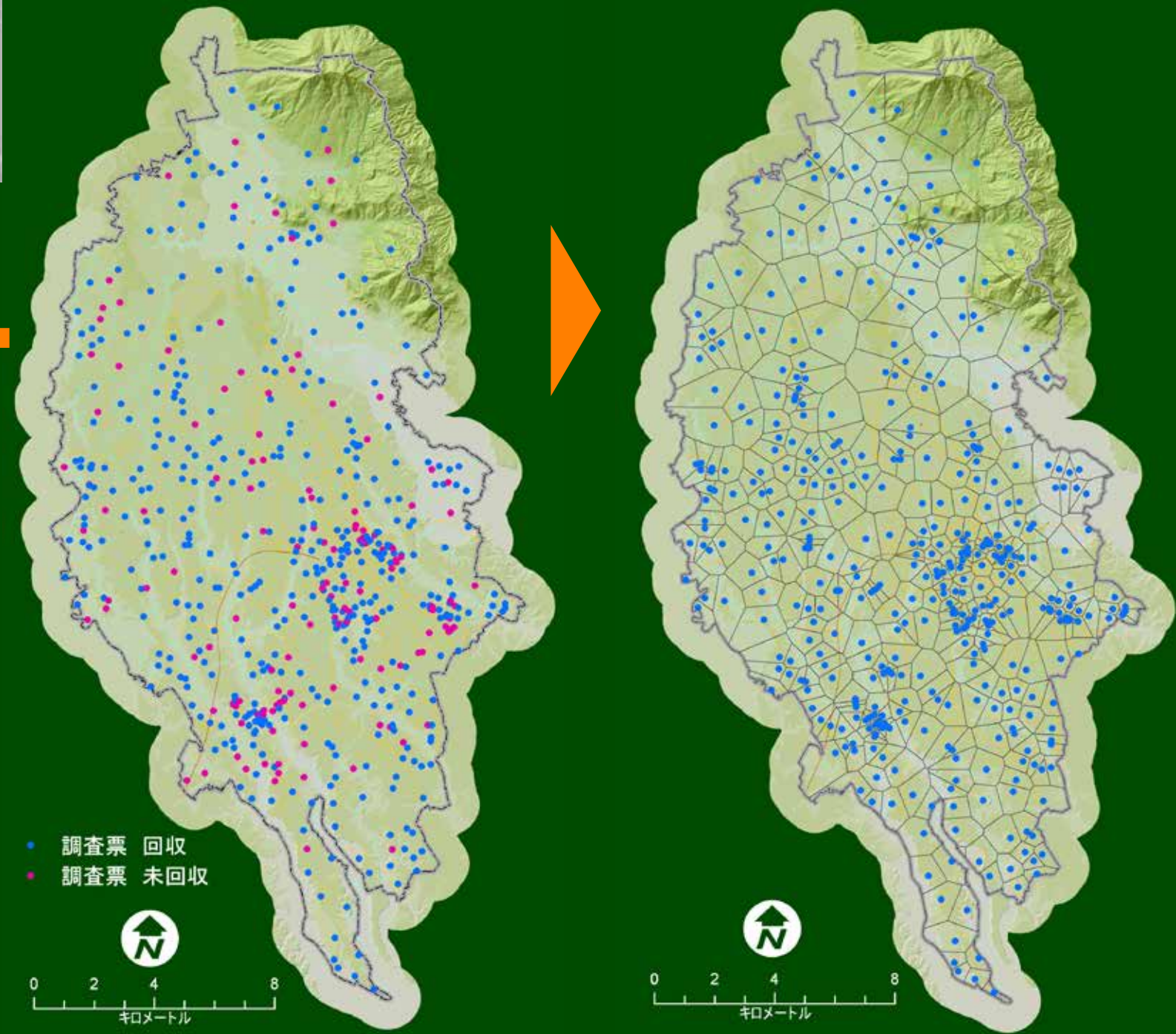


図2 調査票を回収できた431の区会を対象にボロノイ分割により分析単位を設定

3. 地域の類型化

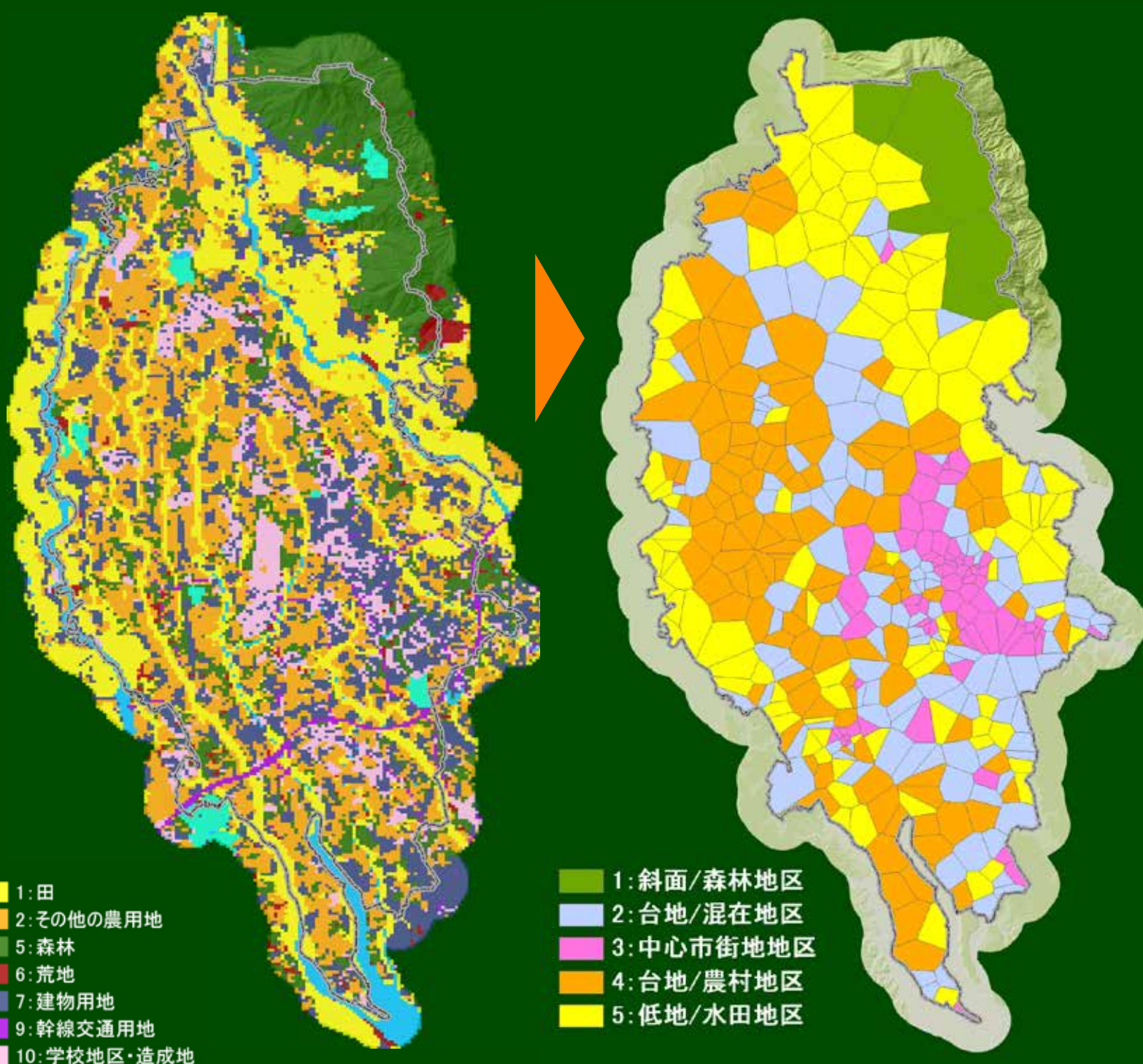


図3 国土数値情報の土地利用データ（平成18年）を用い、クラスター分析により5地区に類型化した

解析単位ごとに平均標高と土地利用面積割合を算出し、クラスター分析により5地区に類型化した。図7に地区別特性（土地利用割合）を示す。

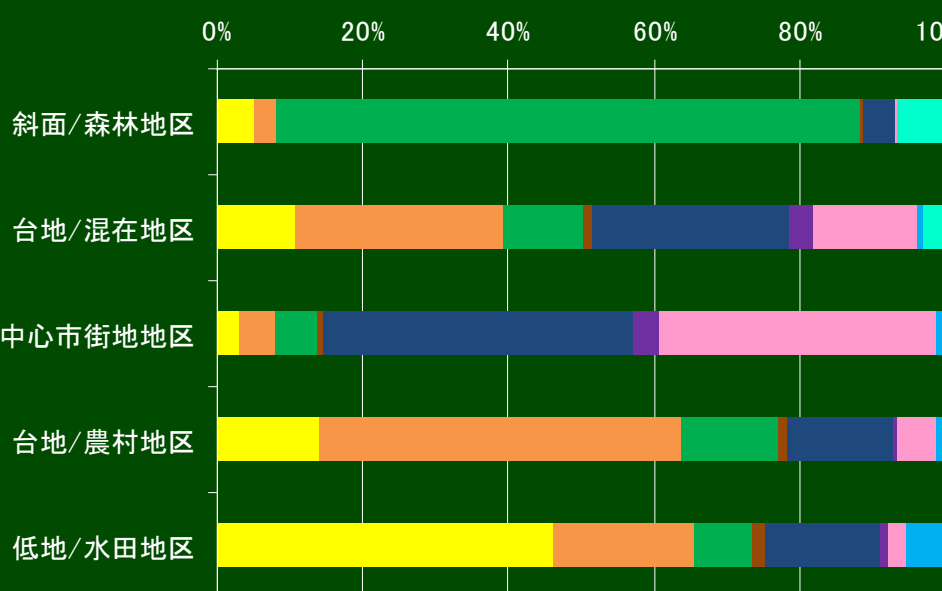


図4 地区別特性（土地利用割合）

4. 震災による被害状況の空間分布

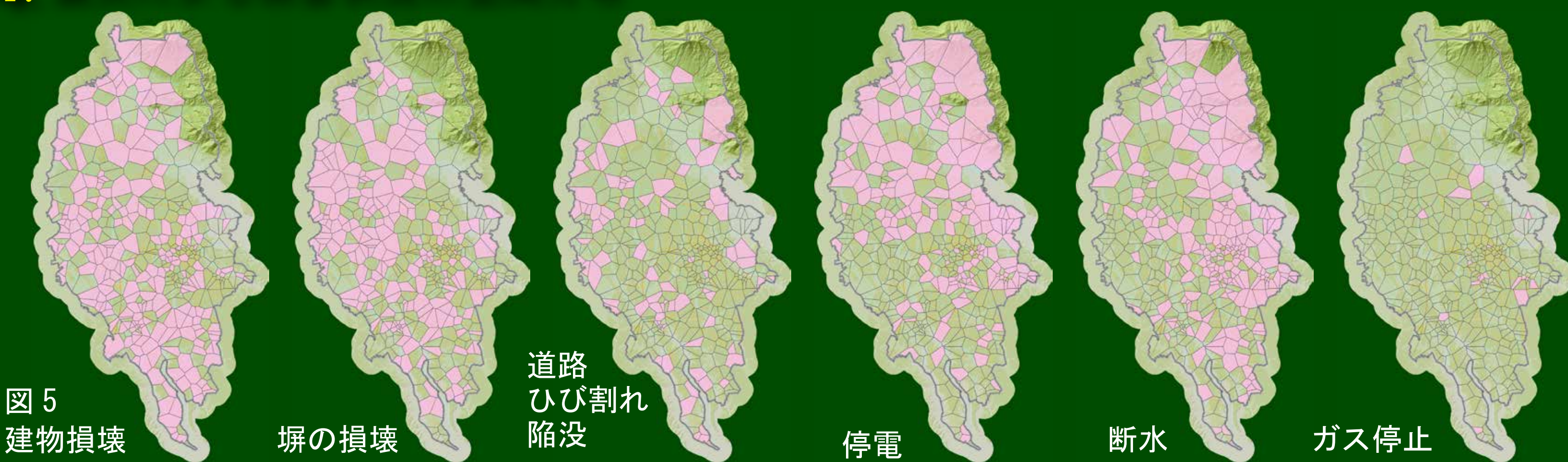


図5

建物損壊

塀の損壊

道路ひび割れ
陥没

停電

断水

ガス停止

アンケート結果より区会単位での被害状況の有無を図化するとともに、類型化した5地区との関連を把握した。建物や塀の損壊は台地表面上に広く分布しているが、停電や断水は市北東部の「中心市街地地区」や「斜面/森林地区」で多くみられた。

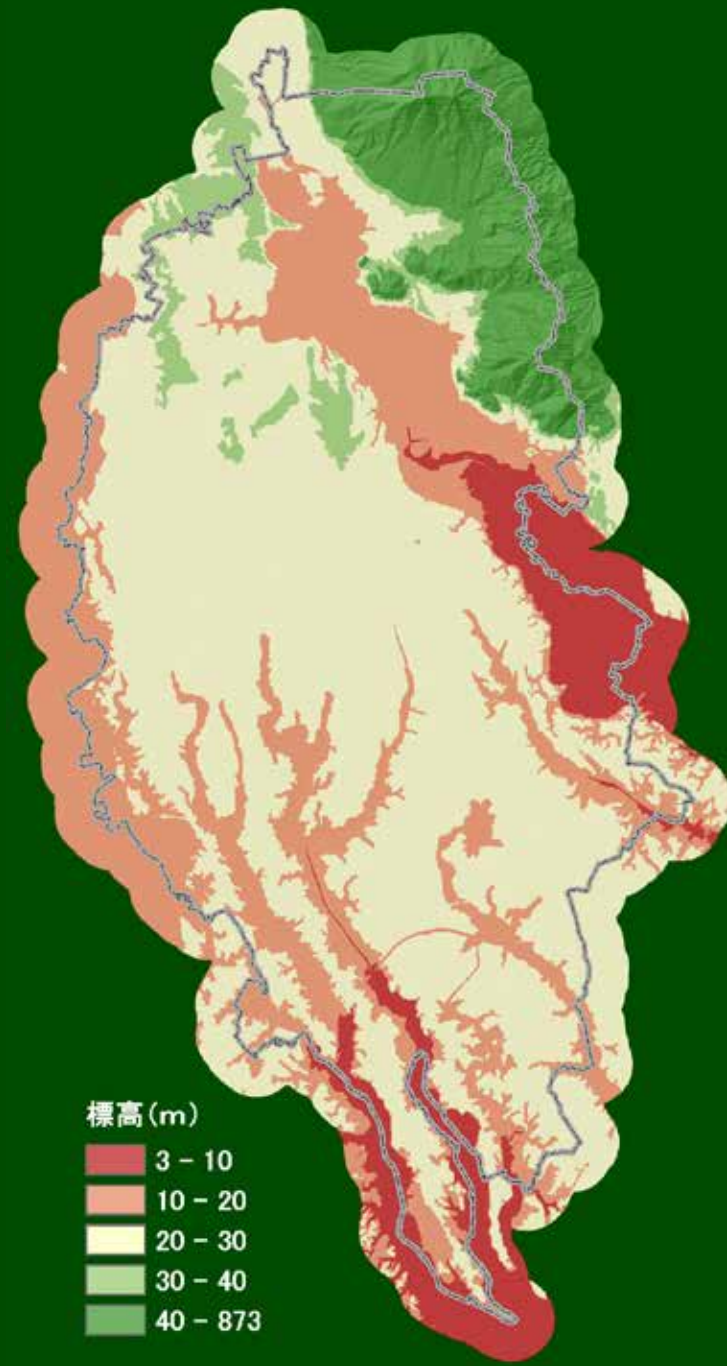
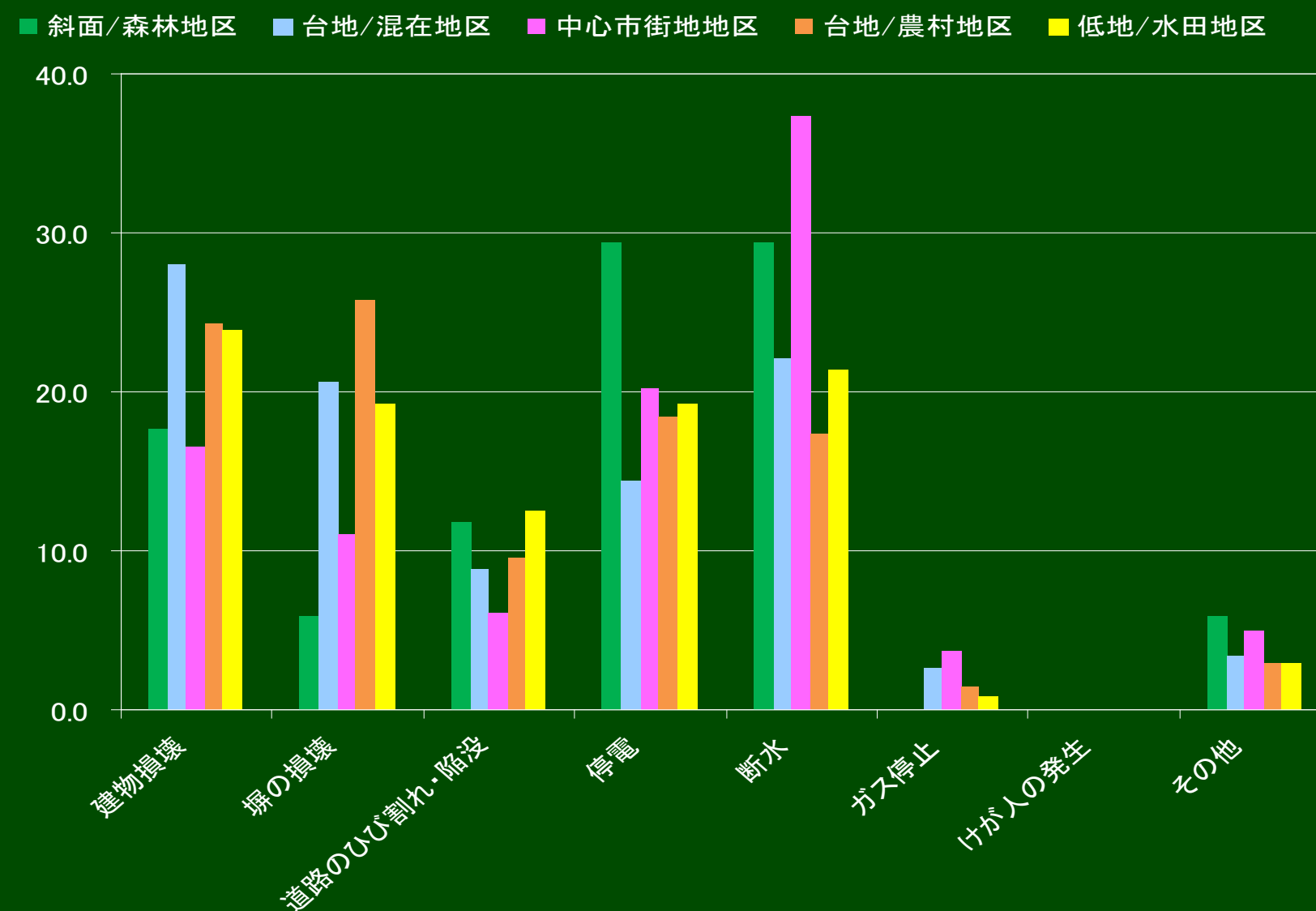


図6 地形条件

5. 震災時における情報入手手段

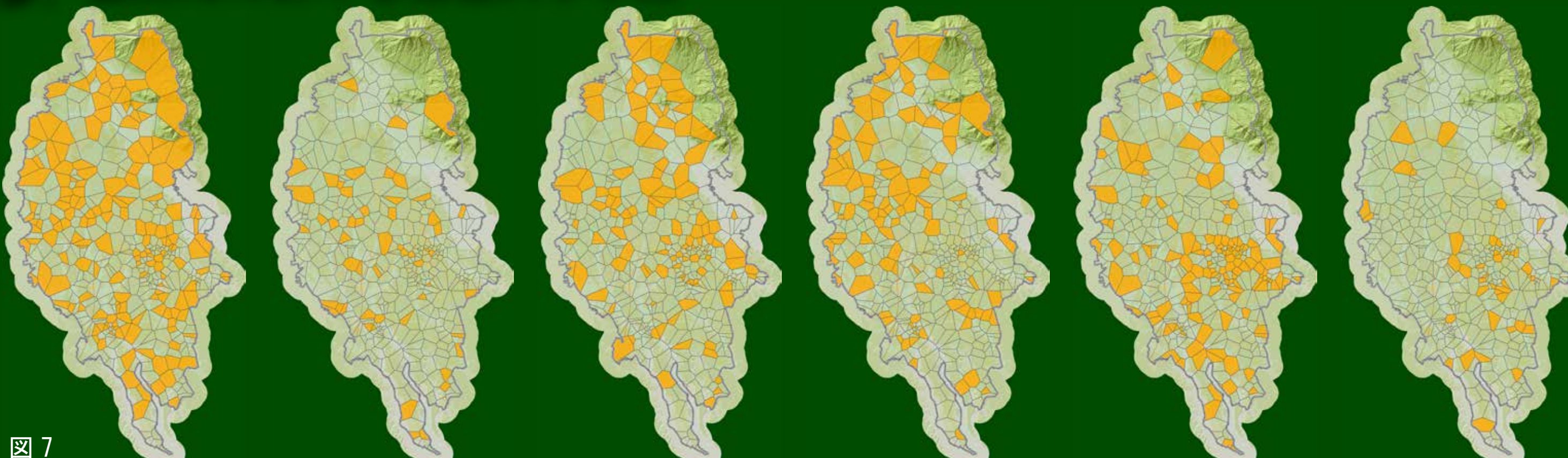


図7

行政への電話問い合わせ

市役所に出向いて問い合わせ

市役所広報車

市職員による戸別訪問

市役所ホームページ

市役所以外のホームページ

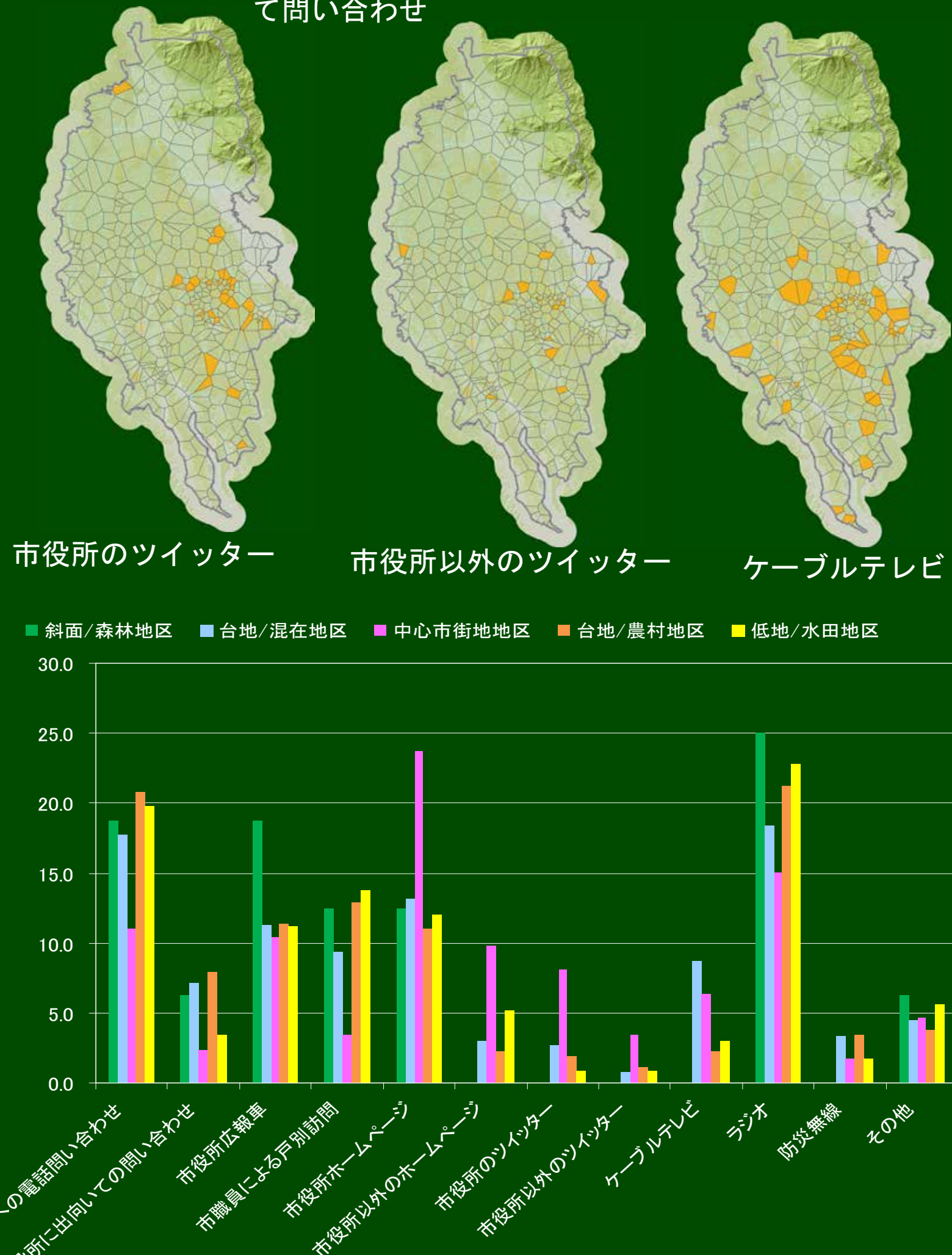
市役所のツイッター

市役所以外のツイッター

ケーブルテレビ

ラジオ

防災無線



「中心市街地地区」では市役所ホームページやその他ホームページ、ツイッターなど、情報技術を利用して情報を入手している。

6. 震災時における区会加入者への情報伝達手段

回覧板や電話連絡網、区会役員による戸別訪問が広く行われたが、「中心市街地地区」では、掲示板への掲載や電子メール・メーリングリストの活用が、他の地区に比べて多かった。

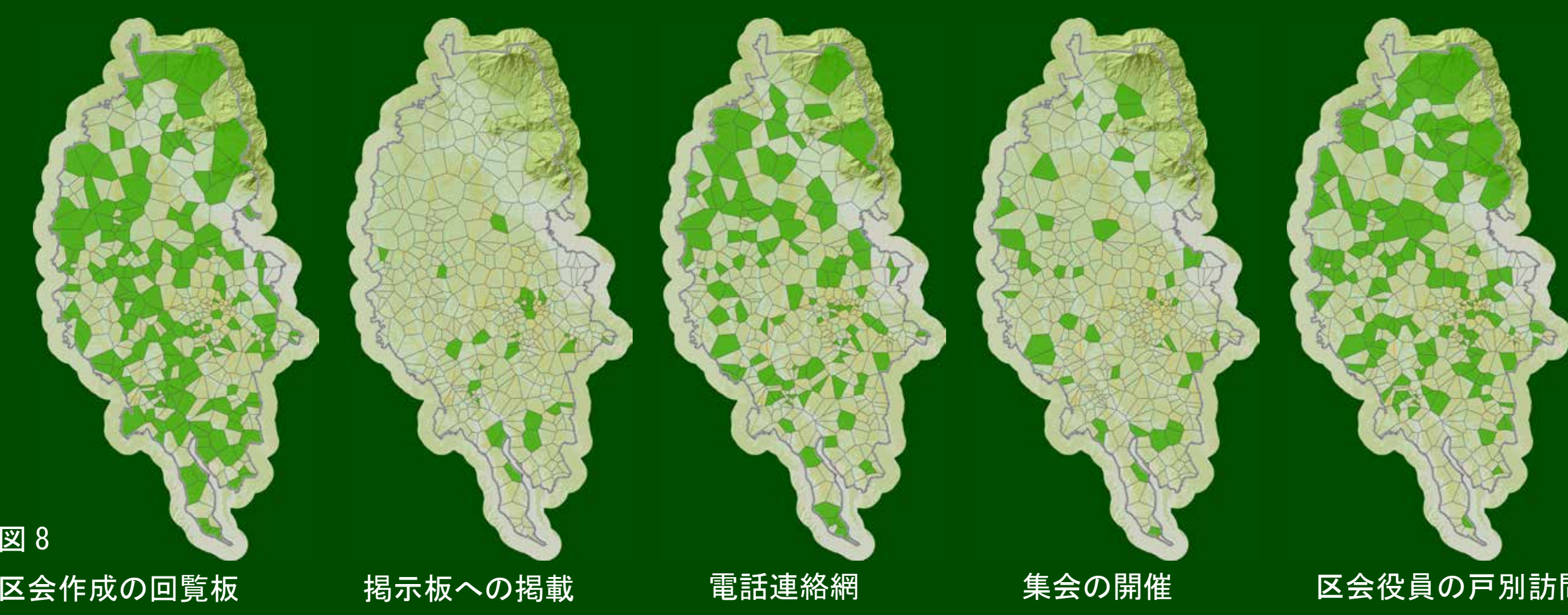


図8

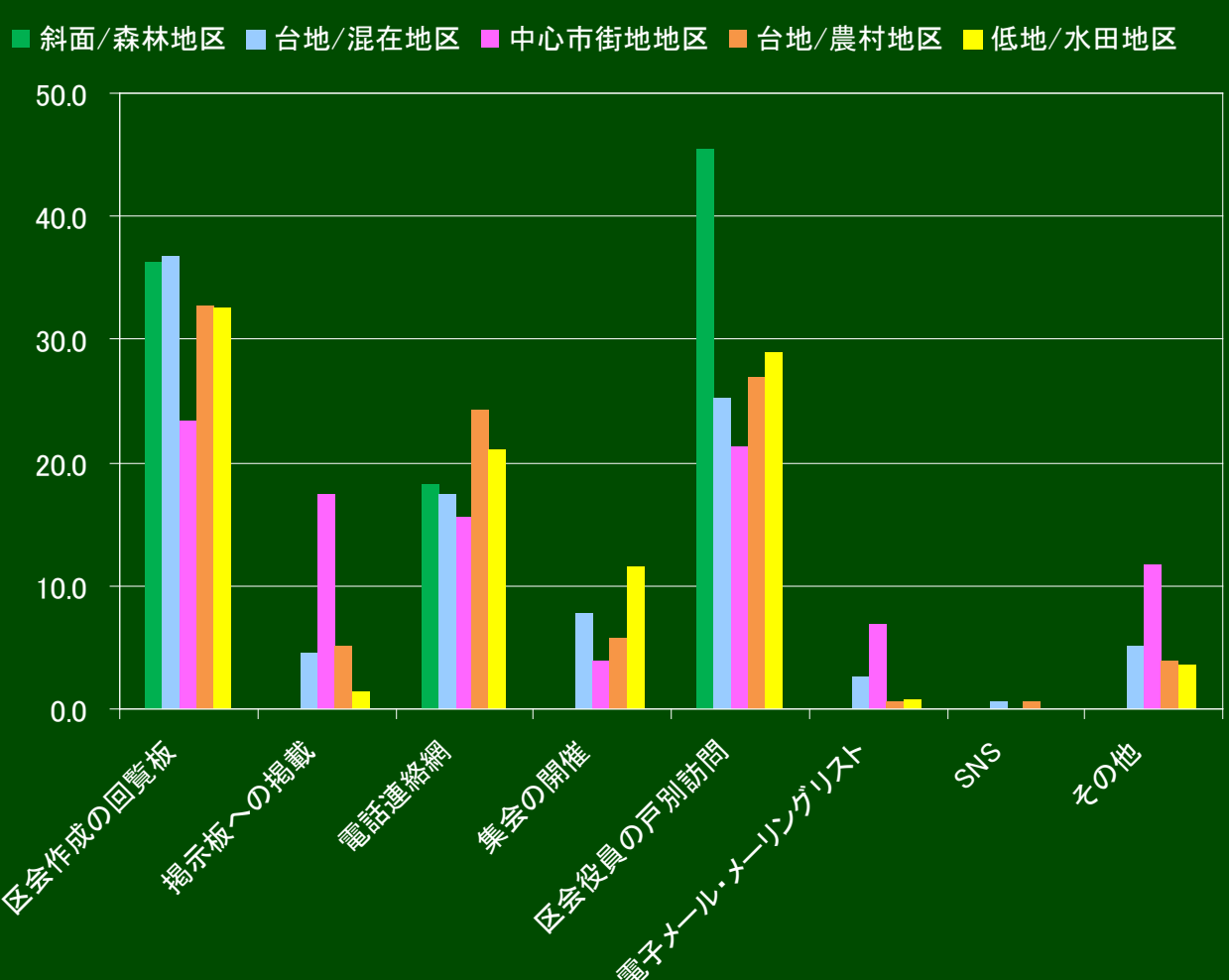
区会作成の回覧板

掲示板への掲載

電話連絡網

集会の開催

区会役員の戸別訪問



メール・メーリングリスト

ソーシャル・ネットワーキング・サービス

7. 平常時および緊急時における区会内の連絡方法

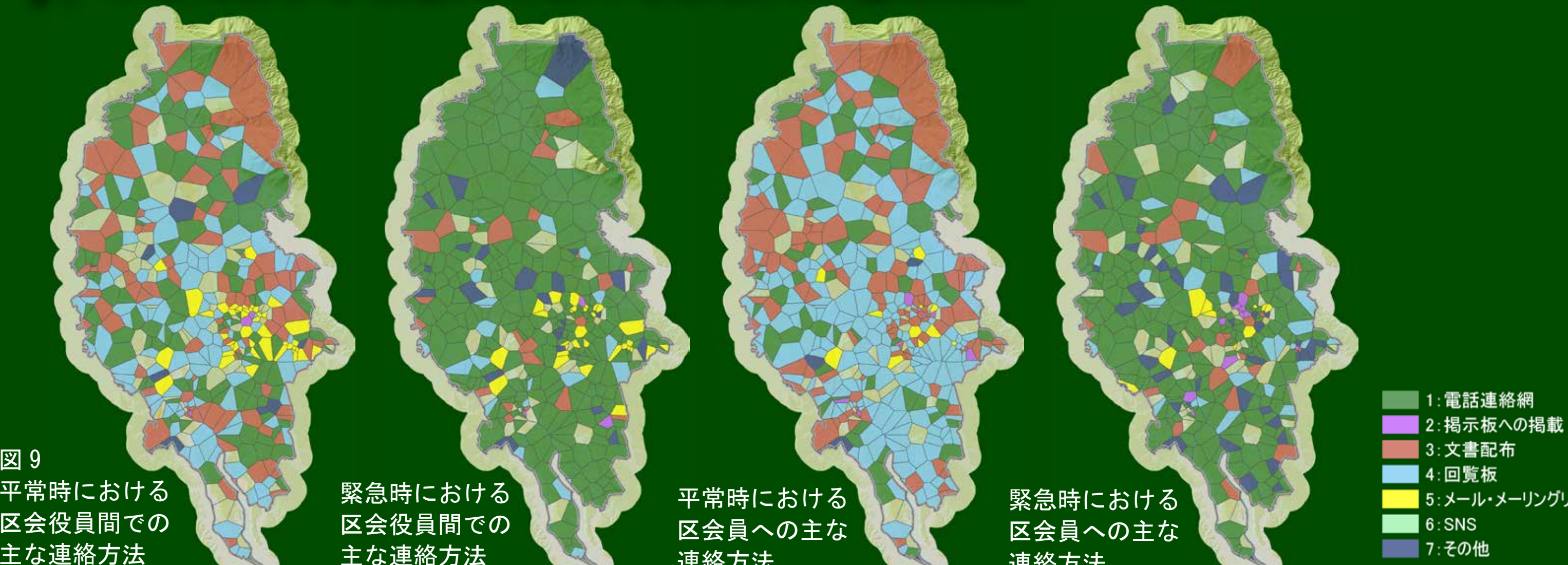


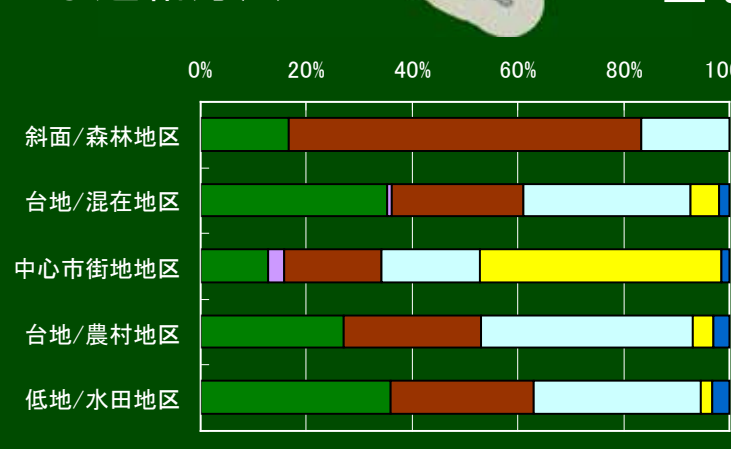
図9

平常時における区会役員間での主な連絡方法

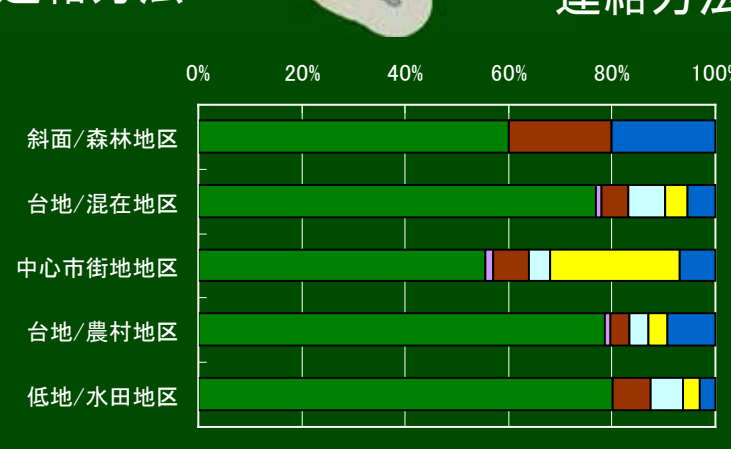
緊急時における区会役員間での主な連絡方法

平常時における区会員への主な連絡方法

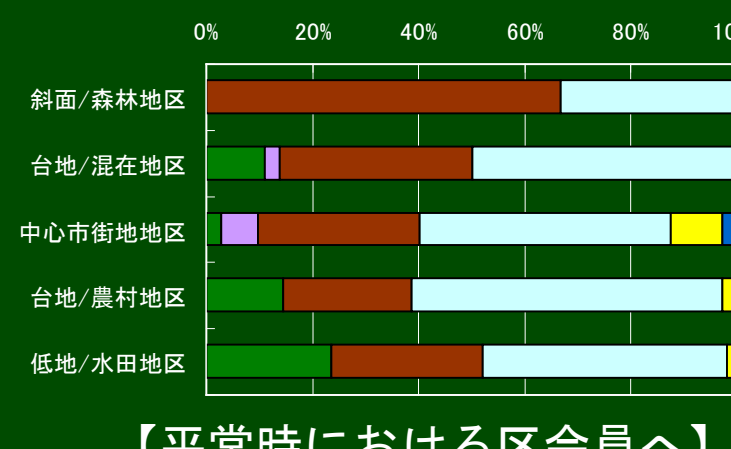
緊急時における区会員への主な連絡方法



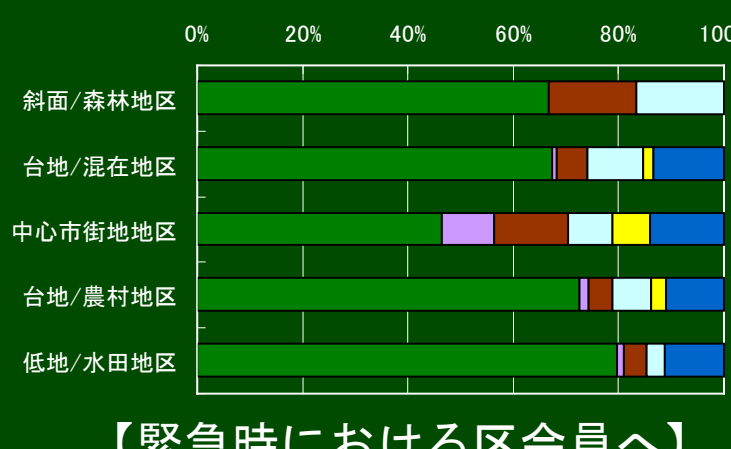
【平常時における区会役員間】



【緊急時における区会役員間】



【平常時における区会員へ】



【緊急時における区会員へ】

平常時は、電話連絡網、文書配布、回覧板を中心に多様な連絡方法がとられているが、特に「中心市街地地区」の区会役員間の連絡では、約半数がメール・メーリングリストを利用している。

一方緊急時には、区会役員間および区会員への連絡共に、電話連絡網の利用割合が高いが、「中心市街地地区」ではメール等を含めて多様な連絡方法がとられている。

謝辞：アンケート調査を行うにあたり、つくば市市民部市民活動課に大変お世話になりました。ここに記してお礼申し上げます。